

農と暮らしの新たな視点を探る

# 産直コペル

*sanchoku cooper*

2017.5 Vol.23

**特集 伝統工芸と  
それを支える一次産業**

**新連載! 地域野菜あまから訪問記  
「信州の伝統野菜」制度の  
めざすものは**

# 食品ロスについて考える

——東京農工大学 野見山敏雄——



女性の手のひらにおかれたテフ。これは「タネ」?それとも「食糧」?

りも高値で買い取ってもらえるはずでした。しかし、夾雑物がほとんど無い純度の高いタネにもかかわらず、種子が微細なため優良種子かどうかの見分けがつかないといった理由で、結局、食糧として

## 開発 農家による優 —タネと 信州大学

すべき魅力的なものとはならなかったのです。

そもそも毎年不安定な気象条件が続く中で、収量を左右する条件は、その年の降水のタイミングや干ばつの程度に大きな影響を受けます。つまり、エチオピアの場合、その年の収量は、優良種子かどうかの違いで判断できるほど単純なものではないということなのです。

農家は収穫したテフを牛に踏ませて脱穀し、風選(風で実入りの悪い種子を飛ばす)して、

こそ、私たちは学ぶべきことがあるのだと信じています。

### 根本和洋さん 信州大学農学研究院 助教



信州大学で植物遺伝育種学をテーマに研究を行っている。作物育種や遺伝資源、雑穀などが専門で、日本だけでなく、ブータンなど海外の遺伝資源の調査も行っている。

2月下旬に移動を含めて1週間、愛知工業大学の小林富雄氏の科学研究費で、パリとロンドンの食品ロス

の調査を行った。総勢6名で行政やNGOなどを対象とした慌ただしい調査だった。この紙面では、調査の具体的な内容について触れることはできないので、食品ロスに関する説論的な考察を述べたい。

まず、日本の食品ロスについて簡単に説明しよう。我が国の食品由来の年間廃棄物量は2,797万トンで、そのうち可食部分と考えられる食品ロスは632万トンである。発生源別に見ると、事業系330万ト

ンと家庭系302万トンである(2013年度農林水産省推計)。

事業系からの食品ロスの原因としては、過剰在庫、3分の1ルールと呼ばれる商習慣(後述)や箱の潰れ、印字ミスなどパッケージの欠陥を理由とした返品などである。その他、予定外の生産(野菜の大量生産)や規格外の問題などもある。特に日本の場合、賞味期限の3分の2が残っていないと小売店に納品できない(113分の1ルール)という厳しい納品期限となっており、食品廃棄が他国と比べて発生しやすい状況がある。

フランスとイギリスの食品ロスの状況も、日本と大きな差は無かった。今回取材した行政やNGOなどの担当者によれば、家庭における食品ロスの発生は、全体の2分の1だとい

う。そのため、家庭における食品ロスを減らす運動や対策が必要だと主張していた。

だが、それは本当なのか。筆者は先進国における大手量販店を中心としたフードビジネスの活動が問題ではないかと考えている。食品を大量に製造し、大量に流通・販売し、そしてCMに踊らされ、価格が安いと言って食べきれないくらい買う消費者がいる。この状況をロンドン郊外にある会員制の低所得者向けスーパーマーケット(Company Shop)で見た。ここでは、賞味期限ギリギリの食品を安価で販売し、客は大型カートに山のように買っていた。だが果たして、家庭ですべて食べ切れるのだろうか。大手量販店や食品メーカーは、見切り品の安価な処分先としてこのスーパーを選んでいて、ではないかと。この点は、さらに検証が必要であろう。

もう一つの論点は、フードバンクに供給される食品の商品的性質である。フードバンクとは、製造や流通過程で市場価値を失った食品や個人で消費しきれなかった食品を引き取り、無償で福祉施設などに配布する活動である。食品自体に問題はないが商品としては扱えないものを指す。

また、日本の食品ロスについて簡単に説明しよう。我が国の食品由来の年間廃棄物量は2,797万トンで、そのうち可食部分と考えられる食品ロスは632万トンである。発生源別に見ると、事業系330万ト

### 野見山敏雄さん 東京農工大学大学院農学研究院 教授



東京農工大学で教鞭をとっており、最近の研究テーマは、半商品経済を組み込んだ農林産物の生産と流通に関する総合的研究である。主な著書には、産直商品の使用価値と流通機構(日本経済評論社)や食料・農業市場研究の到達点と展望(筑波書房、共著)など多数。2012年11月より地産地消優良活動表彰審査委員会・委員を務めている。

参考文献:野田健斗「行政との協働によるフードバンク活動」東京農工大学農学部卒業論文、2016年2月



フードバンクで働く学生ボランティア



スーパーでフードバンクに菓子を寄付する筆者